

## 新たな地域コミュニティ制度に関する検証について

### 【検証の目的】

少子高齢化の進行や生活様式の変化、それに伴い多様化する地域課題への対応がますます難しくなっている社会的背景を踏まえ、地域が一体となって地域課題に取り組む「新たな地域コミュニティ」の認定及び支援に関する制度を平成24年度から進めてきました。

これまでに市内13地区のうち12地区でまちづから協議会が設立され、地域課題の模索や各地域で様々な活動が開始されています。

一方で、条例施行後も、新型コロナウイルス感染症に代表されるように、市政を取り巻く状況は刻一刻と変化しており、令和3年3月にはこうした背景を反映した新たな総合計画を策定しています。

新たな総合計画の中では政策目標として「市民主体のまちづくり」、行政運営の基本姿勢として「市民との関係の深化」及び「市民が力を発揮できる社会の構築」を位置づけており、時代を反映・分析した施策を展開していく必要があります。

そこで、これまでの「新たな地域コミュニティ」に関する取組について取りまとめ、今後の取組の方向性について明らかにすることを目的とします。

### 【検証の構成】

(基礎)

#### 1 制度立ち上げ時の背景

少子高齢化の進展などの社会情勢の変化によって、本市においてどのような地域課題が生じていたのかなど、本制度の構想当時の背景について振り返りを行います。

#### 2 市の公益の増進に取り組む市民の活動への支援施策としての地域コミュニティ制度の目的・設計

本制度の目的や期待した効果等について振り返りを行います。

(制度の運用状況)

#### 3 認定後の認定コミュニティの活動について

上記で確認した、市が当初想定した目的や効果と、現状の相違について整理します。

#### 4 市の支援の効果について

条例に基づく支援の実施によって、当初想定していた地域課題の解決が推進されているか、これまでに実施した支援策を振り返るとともに、その効果について明らかにします。

(まとめと今後の施策展開)

## 5 まとめ

ここまでの振り返りを通して、検証のまとめを行います。

## 6 今後の施策展開について

まとめを踏まえ、今後の市の取組の方向性を設定します。

### 【検証の進め方】

検証にあたっては、内部検証を行うとともに、市民参加の方法のうち適切なものを複数実施し、透明性を確保しつつ多角的な市民意見の反映に努めるものとします。

検証の結果は報告書としてまとめ、今後の地域活動の推進施策の策定に活用します。

### 【検証の手法】

- ・内部検証
- ・他自治体等調査
- ・市民参加の方法

市民アンケート

意見交換会・ヒアリング等

※市民参加の方法については、上記手法以外の実施必要性の検討を適宜行います。

### 【検証手法の概要】

#### 内部検証

これまでの財政的・人的支援の状況や市政を取り巻く環境の変化等についてとりまとめ、検証を行います。

#### 他自治体等調査

類似制度を運用している他自治体に対してアンケート調査を実施します。また、全国的な地域コミュニティに関する動向についても調査を実施します。

#### 市民アンケート

広く地域コミュニティに関する市民意識を把握するため、市内公共施設及びインターネットを活用したアンケートを実施します。また、対象者を限定した（各まちぢから協議会運営員等）アンケートについても実施を検討します。

#### 意見交換会・ヒアリング等

各まちぢから協議会等に対して地域活動で感じる効果や課題について意見交換・ヒア

リングを実施します。

【情報公開】

検証の進捗については、市ホームページで随時更新します。

【検証のスケジュール（案）】

年	R 4	R 5				R 6	
月	1 2	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	
検証作業	第3回審議会	内部検証 各市民参加手法 他自治体調査等	検証結果 報告書 (素案)	第2回審議会	審議会意見 の反映	第3回審議会	検証結果 報告書 公表

※令和5年度第1回は令和4年度の各まちぢから協議会の事業の審査となるため  
本表には記載していません。

上記の他、検証の進捗については適宜情報共有を行い、いただいた御意見を検討いたします。